解　説

第15章　　　　財政

大阪府の財政

155億円の黒字

 大阪府財務部によると、令和5年度の実質収支は155億円の黒字で16年連続の黒字となりましたが、決算規模は、歳入・歳出とも縮小しました。

　歳入は、景気の緩やかな回復を背景とした法人二税の増加などにより、府税収入は過去最高額となりましたが、新型コロナウイルス感染症対策関連経費の減少に伴う国庫支出金の減少などにより、全体としては5,842億円減少しました。

　歳出は、新型コロナウイルス感染症対策関連経費の減少などにより、全体としては5,698億円の減少となりました。

 大阪府普通会計 歳入歳出決算額の内訳

歳入



歳出

[第15章1、2表より]

大阪府の資産・負債

純資産は約1兆6600億円

　大阪府会計局によると、令和6年3月31日現在、7兆8,115億円の資産と6兆1,476億円の負債があります。純資産は1兆6,639億円であり、前年度に比べ1,555億円増加しました。

※大阪府では、平成23年度決算から、従来の官庁会計の仕組みに複式簿記・発生主義という企業会計の考え方を取り入れた「新公会計制度」を導入しています。





[大阪府会計局「令和５年度財務諸表」より]

※貸借対照表：財務諸表の作成基準日における資産、負債及び純資産の状況を明らかにするもの

市町村の財政

形式収支は728億円の黒字

 大阪府総務部によると、令和5年度の府内市町村普通会計決算額は、歳入は4兆8,267億円(前年度比1.0%増)、歳出は4兆7,539億円(同1.4%増)で、形式収支(歳入－歳出)は728億円の黒字です。

 歳入は、科目別では、地方税が１兆7,788億円(前年度比1.7%増)、地方交付税が3,707億円(同4.8%増)、国府支出金は1兆5,777億円(同2.3%減)、地方債が2,502億円(同6.5%増)です。



 府内市町村の歳入の内訳

歳出は、目的別では民生費が最も大きく、2兆2,692億円(前年度比5.8%増)、構成比47.7%です。



[第15章9表より]

※普通会計：共通の基準による統計上の会計区分を設定して地方公共団体間の財政比較が可能となるようにしたもの

 府内市町村の歳出の内訳